

富士山のふもと しあわせを実感できるまち ふじ



第6回 富士山百景写真コンテスト グランプリ



第五次富士市総合計画



後期基本計画 第1部 総論

第1章 後期基本計画策定の趣旨

- 第1節 計画策定の背景と目的
- 第2節 前期5か年の評価
- 第3節 計画策定の視点

第2章 計画のフレーム

- 第1節 人口・世帯
- 第2節 土地利用
- 第3節 財政

第3章 都市活力再生戦略

- 第1節 人口の長期見通し
- 第2節 都市活力再生戦略
 - ①安全で快適なまちづくりプロジェクト
 - ②次代を担うひとづくりプロジェクト
 - ③活力みなぎるしごとづくりプロジェクト
- 第3節 理想とする未来の姿

第4章 施策の体系

第1章 後期基本計画策定の趣旨



第3節 計画策定の視点

後期基本計画は、めざす都市像を実現し、だれもが長く住み続けたいと思う魅力に満ちた都市を実現するため、第2節の「前期5か年の評価」を踏まえ、次に掲げる昨今の社会情勢や後期5か年に想定される課題等に的確に対応できるよう策定しました。

安全・安心

想定される南海トラフ巨大地震や富士山噴火などの大規模災害の切迫性に加え、風水害も頻発していることから、危機管理や情報伝達、治水対策などの体制を強化するとともに、防犯や消防体制の強化など、だれもが安心して生活できるための取組を推進します。



健康・福祉

少子高齢化が進み、ライフスタイルも多様化していることから、年代や生活環境に対応した健康づくりや保健・医療体制を強化するとともに、住み慣れた地域でだれもがいきいきと自立した生活ができる仕組みづくりや子育て環境の整備を推進します。



産業

産業構造が複雑多様化する中、本市の経済は厳しさを増し、大きな転換期を迎えていることから、世界遺産富士山を活用したシティプロモーションや観光振興、工業・商業・農林水産業の活性化支援など、経済基盤の強化を図るとともに、労働力の確保や仕事と生活の調和のための取組を推進します。



環境

本市に潜在する再生可能なエネルギーの徹底活用や、世界遺産である富士山の保全など、多様な課題への対応が求められていることから、総合的な環境保全やリサイクルの推進など循環型社会の形成に向けた取組を展開するとともに、地下水の保全や適正な生活排水処理など良好な水環境を育むための取組を推進します。



教育・文化

子どもや青少年を取り巻く環境が大きく変化していることから、未来を担う子ども・青少年への支援体制の強化を図るとともに、多様化した市民ニーズに対応し、だれもが“いくつ”になっても夢や希望を持ち、生きがいを感じられるよう、学習環境の充実や文化芸術・スポーツを振興する取組を推進します。



都市基盤

人口減少時代を迎え、これまでの拡散した都市構造からコンパクトで効率的な都市への転換が求められていることから、まちなかや地域の生活拠点が結びつき、だれもが自由に移動できるまちに向けた取組を展開するとともに、水や緑を活かした潤いのある都市基盤づくりと住環境の向上に向けた取組を推進します。



都市経営

地方分権が一層進む中、将来にわたり自立した基礎自治体であり続けることが求められていることから、市民や事業者と行政が一体となった活力あるまちづくりを進めるとともに、限られた資産を最大限有効活用するため、ファシリティマネジメント※1による行財政改革を推進します。



※1 ファシリティマネジメント……公共施設の老朽化等に伴い、予想される更新や維持補修費などの財政負担の増加に対し、経営的な視点で設備投資や公共施設の管理運営を行うことにより、公共施設の経費の最少化や施設効用の最大化を図ろうとする手法。